研究所だより
70号 2026. 8. 18

せんじょうち

発行/編集
黒部川扇状地研究所
Tel/Fax　0765-72-0013
E-mail senjochi@milale.ne.jp

令和8年度　フィールドミュージアム事業特集

6/27（土）　かがんぼしいの里で草取り体験



※「かがんぼしい」は、地元の方言で「まぶしい」の意味です。

５月３日に田植えを行った上今江の水田の苗も順調に生育していました。ここは、水嶋前所長が農薬、化学肥料を使わない「環境にやさしい農業」を長年実践されてきた水田です。そのため、雑草も育ちやすく稲の生育を妨げます。今回は、稲の生育を図るため、手作業での草取りを協力し合いながら行いました。昭和のころに使われていた「はったんどる」という道具も再登場しました。作業終了後、流しそうめんがふるまわれ、つるつるの食感がとても心地よかったです。９月５日には「稲刈り」が予定されており、たくさん収穫できる実りの秋の到来が楽しみです。



田んぼの生き物の観察！



いざ、草取り開始！！



流しそうめんに舌鼓！



皆さんで記念写真

7/17（金）　扇状地カフェ①　～牡蠣の星～



今年度第１回目の扇状地カフェは、株式会社海洋深層水かきセンター社長の津久井研悟氏に講師をお願いしました。今回は、これまでの講演形式ではなく、海洋深層水活用施設やかきセンターの現地を見学しながらお話を聞くというスタイルで実施しました。

２３名の参加者の皆さんは、ふだん目にすることのできない、全国から集められたかきが深層水の中で蓄養されている様子や、サクラマスの陸上養殖の様子を見学することができました。

最後に牡蠣の星のレストランで深層水かきやサクラマスを用いたおいしいランチが提供され、楽しいランチタイムとなりました。きっと満足していただけたのではないかと思います。



海洋深層水による効用は？



蓄養の現場を見学しました



牡蠣の星でランチを味わいました

7/25（土）　水の恵みウォーク　～墓ノ木自然公園～



小学校３・４年生親子４組に参加していただき墓ノ木自然公園で親子活動を実施しました。前半は小川の水生生物を採取して観察し、後半はペットボトルでイカダを作り、水遊びを楽しみました。

２つの活動後、冷たい入善ジャンボ西瓜をほおばりました。とても暑い日でしたので西瓜の味も格別でした。活動を通して親子のふれあいが深まり、楽しい夏休みの思い出となったことでしょう。

水の中には何がいるかな？





ペットボトルイカダの水遊びに夢中！



暑い日はスイカが一番！

8/3（月）～4（火）　ＦＡＮ検隊

～フィールドミュージアムツアー2026～

今年度のFAN検隊は、宿泊場所をあこや～のからいろり館に変更し、「水について考えよう、体験しよう！」をテーマに、１泊２日で実施しました。町内の小学校５・６年生８名の参加があり、天候にも恵まれて充実した活動が展開されました。２日間の行程は以下のとおりです。

<1日目>

町民会館(出発式)→じょうべのま遺跡→杉沢の沢スギ→高瀬湧水の庭→園家山(昼食)→海洋深層水施設→黒部川河口・堤防→庄助川→黒部川の河原・陸堀り→入善ジャンボ西瓜畑・西瓜試食→いろり館(泊)

<2日目>

いろり館→下山発電所美術館→下山八幡社・坪野遺跡→御小屋宮・御前林・愛本新用水→愛本橋→中ノ口段丘崖→小摺戸の旧堤防(川徐)→ＭＡＸ(昼食)→ラフティング体験→町民会館(まとめ・解団式)



じょうべのま遺跡で記念写真



海洋深層水の不思議を学ぶ



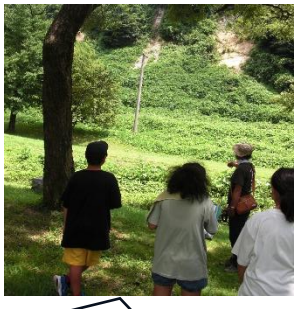
庄助川の生き物探しに夢中！



いろり館にて、みんなで夕食



旧黒東第3発電所の水車にふれる



中ノ口の段丘崖を観察！



アドベンチャー気分満喫！！